



辻川だより

第13号 [2010 春号] 平成22年4月3日発行

発行 辻川区 [辻川公民館]
〒679-2204 福崎町西田原 1227
TEL 0790-22-5763
ホームページ <http://www10.plala.or.jp/tujikawa/>

4/29(祝) 運動会の確認

- 天候の判断が難しい場合は6時に放送
- 役員・体育委員は6時30分集合
- 隣保のテント設営は7時30分以降に
- 9時:開会式 15時:閉会式の予定



2/14 初午子ども相撲



1/10 冬えびす

辻川ふれあい公園

区長 釜坂道弘

昨年度より、取り組みました辻川山周辺の整備事業も二年目を迎えます。今年度は、区民から寄せられた提案、要望を実行に移していく年になります。と同時に、今年からこの辻川山周辺の管理に取組む年にもなります。整備された辻川山周辺を、「ふれあいの公園」として末永く区民に愛され、楽しんでもらえる場所として管理をしていく必要があります。どうか今後も一緒に考え、ご協力いただきますようお願いいたします。



3/27 桜開花(辻川山)



2/28 倉庫整備

- 《当面の予定》
- 4月24日(土) 民俗(辻)広場まつり(福崎町主催)
 - 4月29日(祝) 第24回 辻川区運動会
 - 5月 自主防災講演会
 - 5月中旬 溝普請
 - 6月 フワフワポット植替
 - 7月3日(土) 各種団体・隣保長会議

- 協働委員会
- 2・3月の定例協議委員会での報告・検討内容を一部紹介します。
- ① 倉庫(公民館・法務局跡・有井堂)の整備と備品管理
 - ② 公民館使用規定の一部改正
 - ③ 防犯灯の設置と電球の検討
 - ④ 今年度の自主防災訓練は、講演会と辻川区防災計画検討
 - ⑤ 第24回運動会の組織・競技内容・準備日程等
 - ⑥ 10隣保溝改修工事は4月中旬完成をめぐに
 - ⑦ 辻川山周辺整備は管理団体設立を早急に検討
 - ⑧ 地域筋力トレーニング事業(ふくろうの会)を4～6月に実施予定
 - ⑨ 町づくり事業検討

- 事業報告
- ◆1月17日(日) 平成22年度辻川区総会 102名出席。新区内入り17軒。第1～5号議案承認。



…そういえば昭和59年頃まで夏えびすでも福引がありましたよね。

- ◆2月28日(日) 倉庫(区保管備品類)整備
- 関係団体と協議委員で公民館の物置や登記所跡倉庫等の大掃除と整理を行った。防災備品は大半が公民館倉庫へ。防災資機材一覽も掲示。ご覧ください。



- ◆2月20日(土) 交通安全教室
- 子ども会の親子と隣保長さんを中心に100名余りの参加者が福崎署のおまわりさんの話や映画を楽しんだ。そして学んだ。子ども会元氣!

- 「質問」: 界限展・民俗学の夕べに区民参加が少ない。内容検討を。防犯灯の電球にLEDを。辻川山整備に保水力の視点を。協議員の在任5期を超える者の再選規定見直しを。
- ◆1月23日(土) 新隣保長会議
- ① ブロック長の選出
 - ② 町内会費徴収について
 - ③ 2～4月行事・事業確認
 - ④ 平成22年度祭礼行事日程について「10隣保」

「質問」: 界限展・民俗学の夕べに区民参加が少ない。内容検討を。防犯灯の電球にLEDを。辻川山整備に保水力の視点を。協議員の在任5期を超える者の再選規定見直しを。

- ◆1月14日(木)とんど
- ◆1月14日(木)とんど
- ◆2月3日水節分 年越祭
- ◆2月14日(日) 初午祭

辻川で最も世帯の多い隣保だけあって賑やかな初午になりました。赤飯のおむすびにミカンの振舞い。辻川商工会を始め近隣事業所のご好意による400本の福引は今年も充実した景品の数々。1等自転車は何処へ

◆1月17日(日) 平成22年度辻川区総会 102名出席。新区内入り17軒。第1～5号議案承認。

平成22年度辻川区役員一覧〔総軒数三〇七軒〕
4月から団体役員に一部変更(薪)があります。(4/3現在)

区長 釜坂 道弘
副区長 内藤 政義(総務)
会計 新見 良一
協議委員

釜坂 好隆(環境)

鈴木 智久(文化)

田崎 正和(広報)

日下 博義(体育)

松田 耕二(土木)

松岡 博子(体育)

金井 年郎(文化)

高井 紳一(環境)

会計監査 宮島勇・有井登

隣保長 (◎はブロック長)

1ブロック [軒数]

1 松岡 好信 [三]

◎ 2 有井 政彦 [二]

3 石本 伸介 [三]

1 4 村井 吉典 [八]

2ブロック

◎ 4 高橋 大蔵 [七]

5 松岡 勝巳 [五]

6 前田 亮平 [九]

7 松岡 高田 [三]

3ブロック

◎ 1 0 佐伯 健一 [五]

1 1 犬塚 宏幸 [九]

1 2 吉田 和司 [八]

1 3 岡野 晴行 [三]

4ブロック

8 松岡 嘉男 [一〇]

9 石川 弘一 [三]

◎ 1 5 上延 正美 [二]

2 0 黒田 泰 [五]

2 1 大門 保信 [二]

5ブロック

1 6 上延 修 [八]

1 7 井上美津子 [二]

◎ 1 8 小東 克己 [一〇]

1 9 衣川 盛久 [九]

◎ 1 代表のみ紹介

老人会 木村正一(第一ラフ)

宮島勇(第二ラフ)

有井登(第三ラフ)

女性部 松岡 直美

商工部会 古井 徹夫

農業部会 中村 武嗣

消防団 山口 章範

青年団 村井 宏行

小学PTA 岡田 誠

中学PTA 平岡 利昭

上部派遣役員

民生委員 岡本徳子

補導委員 山下美紀

青少年健全育成委員 駒田富男

体育普及員 鈴木智久

文化財協力委員 駒田仁

人権教育推進委員 高井紳一

内藤政義

松岡博子

三木素位

宮島勇

福祉委員

1 隣保担当

ヤッターネ!「お知らせ」
★辻川子ども会が受賞

平成21年度兵庫県子ども会育成大会(11月22日)で、辻川子ども会が社団法人兵庫県子ども会連合会より優良団体として表彰されました。おめでとう。

★辻川鬼太鼓が全国区に?

平成21年度地方の元気再生事業の一環として福崎町が取り組んでいる旅の学校「フオークロアン」講座のオープニングを辻川鬼太鼓が飾りました。エルテホールでの第1回講座(1月9日)には若手県遠野の語り部さんの賛助出演もありました。

お詫びと訂正

辻川だより第12号に誤りがありました。既に発行時の隣保長会議で訂正は伝えていますが、記録として残します。

裏面3段目の本文8行目

近藤薫→馬場幸次郎

裏面4段目の注1-2行目

「侍派」の近藤→商人の馬場

松岡秀隆さんによると、「誤記の連鎖が連鎖と続けられてきた」そうです。記してお詫び申し上げます。

鈴の森神社の
玉垣にみる昔の
辻川の賑わい

2 鷺城(さぎょう)新聞

明治になって辻川には、大庄屋三木家に代わる行政機関として(注1)郡役所、登記所、(注2)裁判所、(注3)田原村役場その他の官公署が置かれることになり、単なる東西の丹波・津山の街道と、南北の生野街道(「銀の馬車道」は明治9年完成)との交差点という機能に加えて、行政・管理機構の核という機能をもつことになった。政治・文化の中心であった辻川には職人や商人も多く、また出入りする業者も多かった。その一つに鷺城新聞社があった。

鷺城新聞は、明治33年姫路市下白銀町で生田慶吉氏が創刊した。後に、活版所を経営する高橋金治氏が引継ぎ(事務所を南畝(のうね)町に移す)、編集方針も「真実の報道を正義とし、正義のためには権威にも屈しない」と、当時有力な権威を持つ第十師団(姫路市)を相手に論陣を張ったり、教育界の乱脈、警察の腐敗を指摘し、市民からの支持を集めたそつだ。最盛期には社員72名を有し、兵庫県の三大新聞と呼ばれ、播州一円に多くの愛読者を持っていたが、残念なことに大正8年廃刊となった。

高橋金治氏は、三木露風、有本若水、安田青風ら、全国で名

をはせた詩人や文学者らが投稿する「鷺城文壇」を設け、近代播磨文学史に輝かしい足跡を残している。



〔以上、鷺城新聞に関しては姫路観光ガイド(姫路ファン)の明治・大正・昭和初期の姫路より抜粋・加筆〕
鷺城新聞創刊十周年には柳田國男や井上通泰も祝電を送っている。井上の祝電は短歌「千代八千代 散る事知らぬ 新文(しんぶん)の花の十年を祝ふ心かな」であった。

〔注1〕建物は今歴史民俗資料館。明治19年に神東・神西郡役所として建てられ、後に神崎郡役所と改称。昭和56年まで2隣保(現在は南北の道路地)にあった。

〔注2〕所在不明なるも3隣保の登記所跡地付近にあったか?

〔注3〕明治22年に現在の農協「JA福崎東支店」あたりに建った。

編集後記

運動会楽しみましょう。次号の「鈴の森・玉垣」では「横光利一の父 顕利と辻川」を取り上げる予定です。 [田崎]